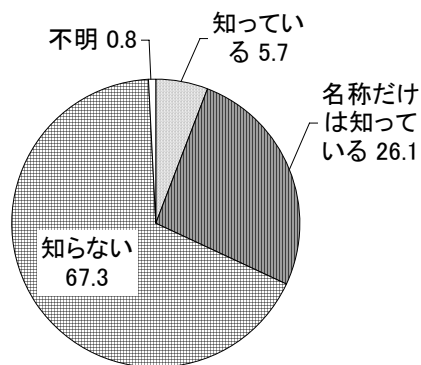


## A1. 「いきいき市民健康プラン」の認知度

### [設問]

Q 1 仙台市では、100 万市民の健康づくり基本計画として平成 14 年 3 月に「いきいき市民健康プラン」を策定しましたが、名称や内容をご存知ですか？（○は 1 つ）

### [回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査	
		件数	%
1	知っている	140	5.7
2	名称だけは知っている	636	26.1
3	知らない	1641	67.3
4	不明	20	0.8
回答数		2437	100.0

### [回答結果(詳細)]

「いきいき市民健康プラン」の認知度について伺ったものである。

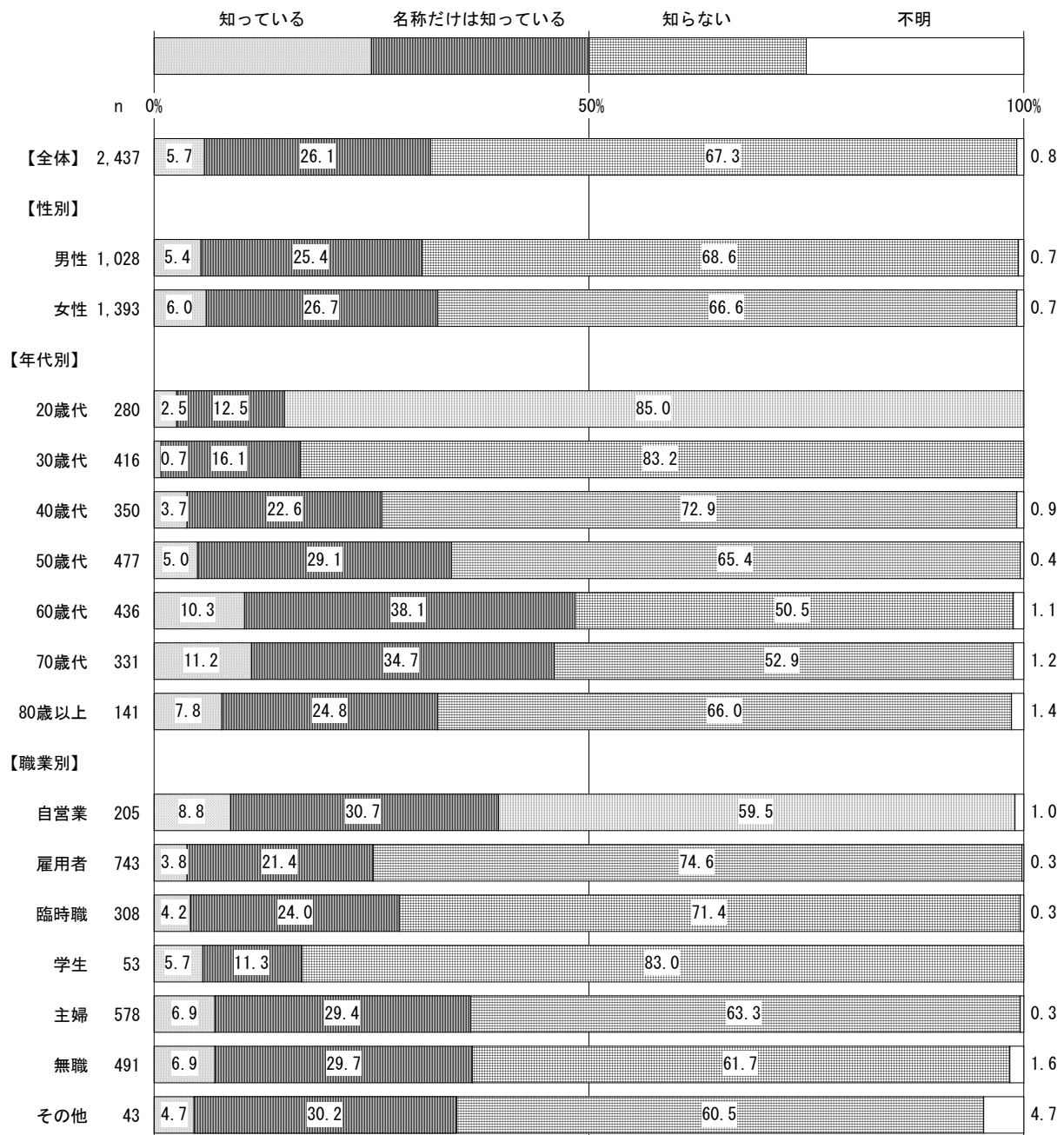
“認知度”（「知っている」＋「名称だけは知っている」）は 3 割強であるが、（内容まで）「知っている」単体のみを見ると、約 6 % 程度にとどまっている。

男女別で見ると、“認知度”は男女共ほぼ同じ 3 割程度であるが、女性の方でやや高くなっている。

年代別に見ると、“認知度”は 50 代以上で高く、特に 60 歳代では 48.4%、70 歳代では 45.9%に達している。（内容まで）「知っている」単体でも、60 歳代で 10.3%、70 歳代で 11.2%と 1 割を超えている。

「知らない」とした方は、相対的に若い世代に多く、20 歳代では 85.0%、30 歳代では 83.2%となっている。

職業別に見ると、“認知度”は『自営業』39.5%、『主婦』36.3%、『無職』36.6%と高くなっている。一方、『学生』は全職業中最も認知度が低く、17.0%である。

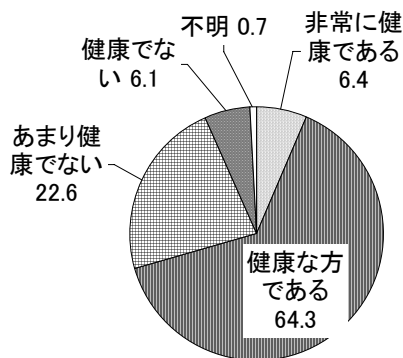


## A2. 自分の健康状態

### [設問]

Q 2 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

### [回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	非常に健康である	155	6.4	166	7.3
2	健康な方である	1567	64.3	1561	68.2
3	あまり健康でない	550	22.6	447	19.5
4	健康でない	148	6.1	107	4.7
5	不明	17	0.7	7	0.3
回答数		2437	100.0	2288	100.0

### [回答結果(詳細)]

ご自身の健康状態について伺ったものである。

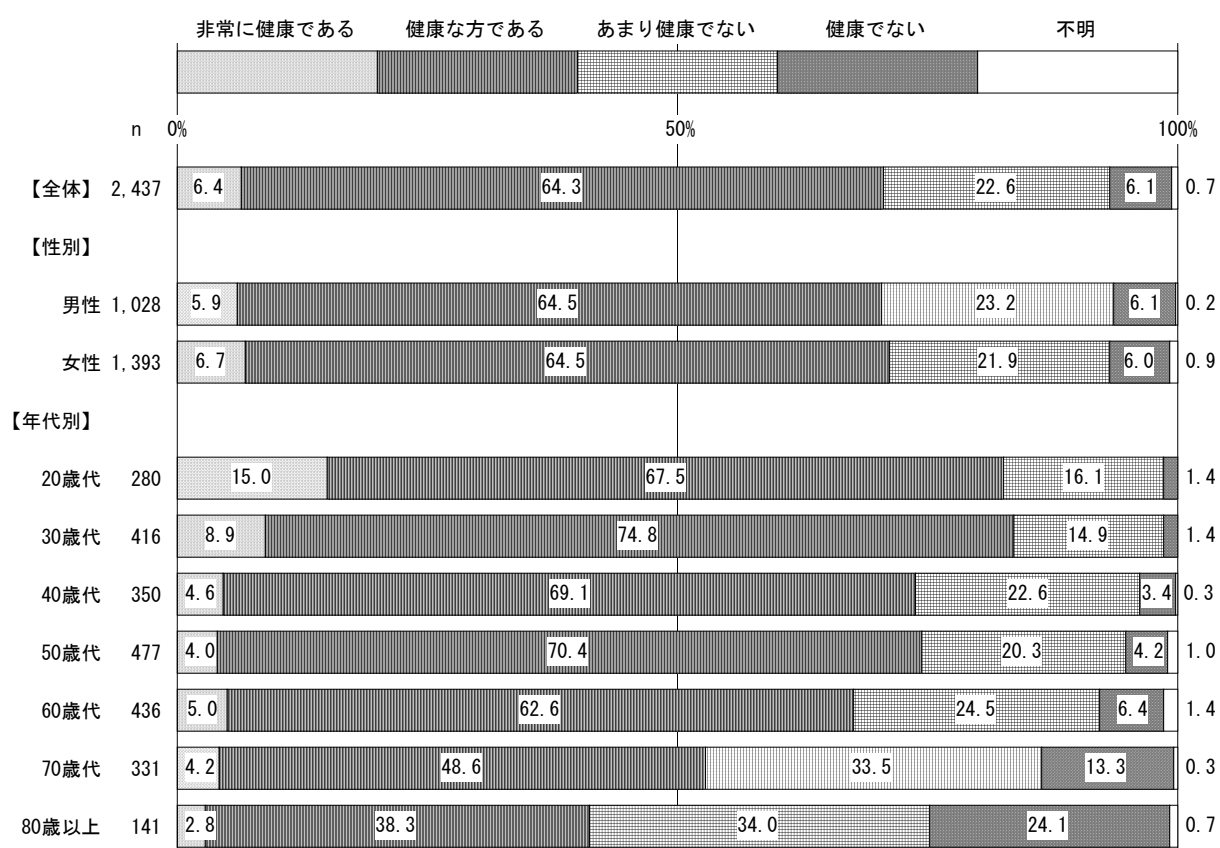
“健康である”(「非常に健康である」＋「健康な方である」)と回答した方が70.7%、“健康でない”(「健康でない」＋「あまり健康でない」)が28.7%の構成(7：3)となっている。

前回結果と比較すると、「健康な方である」が微減し、代わって「あまり健康でない」が微増となっている。

男女別で見ると、全体傾向と全く同じとなっている。

年代別に見ると、“健康である”と回答した方は若い世代に多く、20歳代は82.5%、30歳代は83.7%である。逆に、70歳代以上の高齢者では“健康でない”割合が高く、70歳代は13.3%、80歳以上では1／4(24.1%)が最も健康状態の悪い「健康でない」と回答している。

前回結果と比べ、“健康である”方が40歳代で8%、80歳以上で15%減少している。

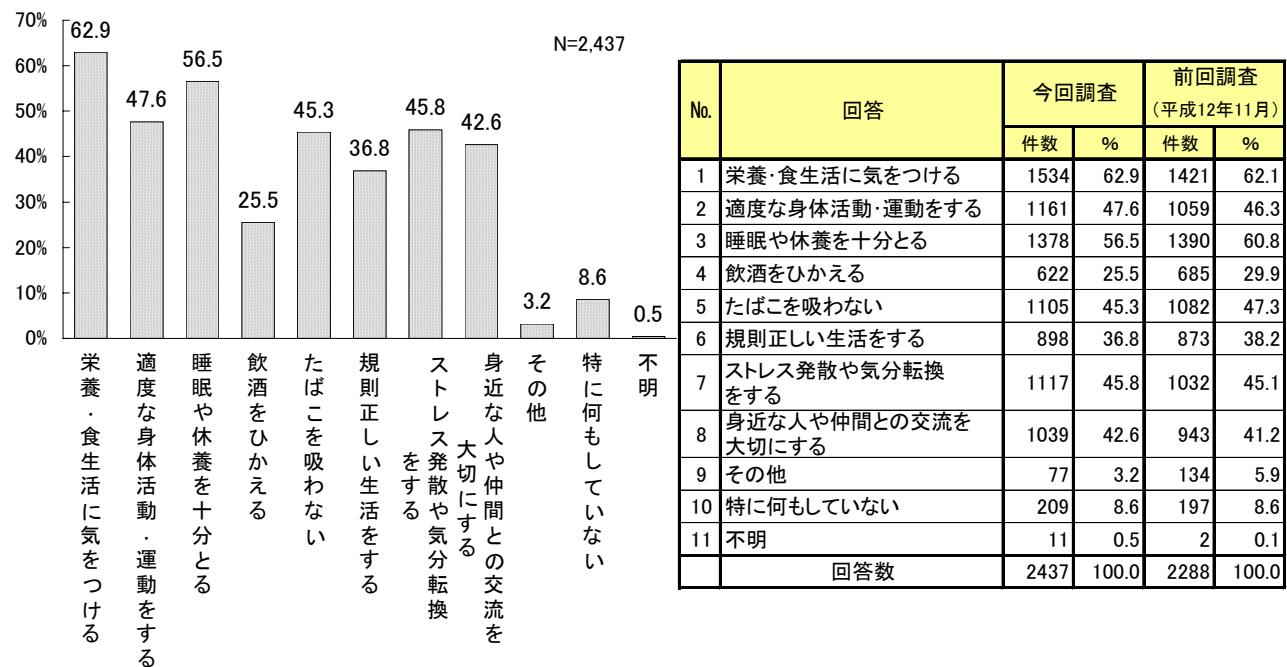


A3. 健康のためにしていること

[設問]

Q 3      あなたは、健康のためにどのようなことをしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも。 (「10」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



[回答結果(詳細)]

健康のためにしていることについて伺ったものである。

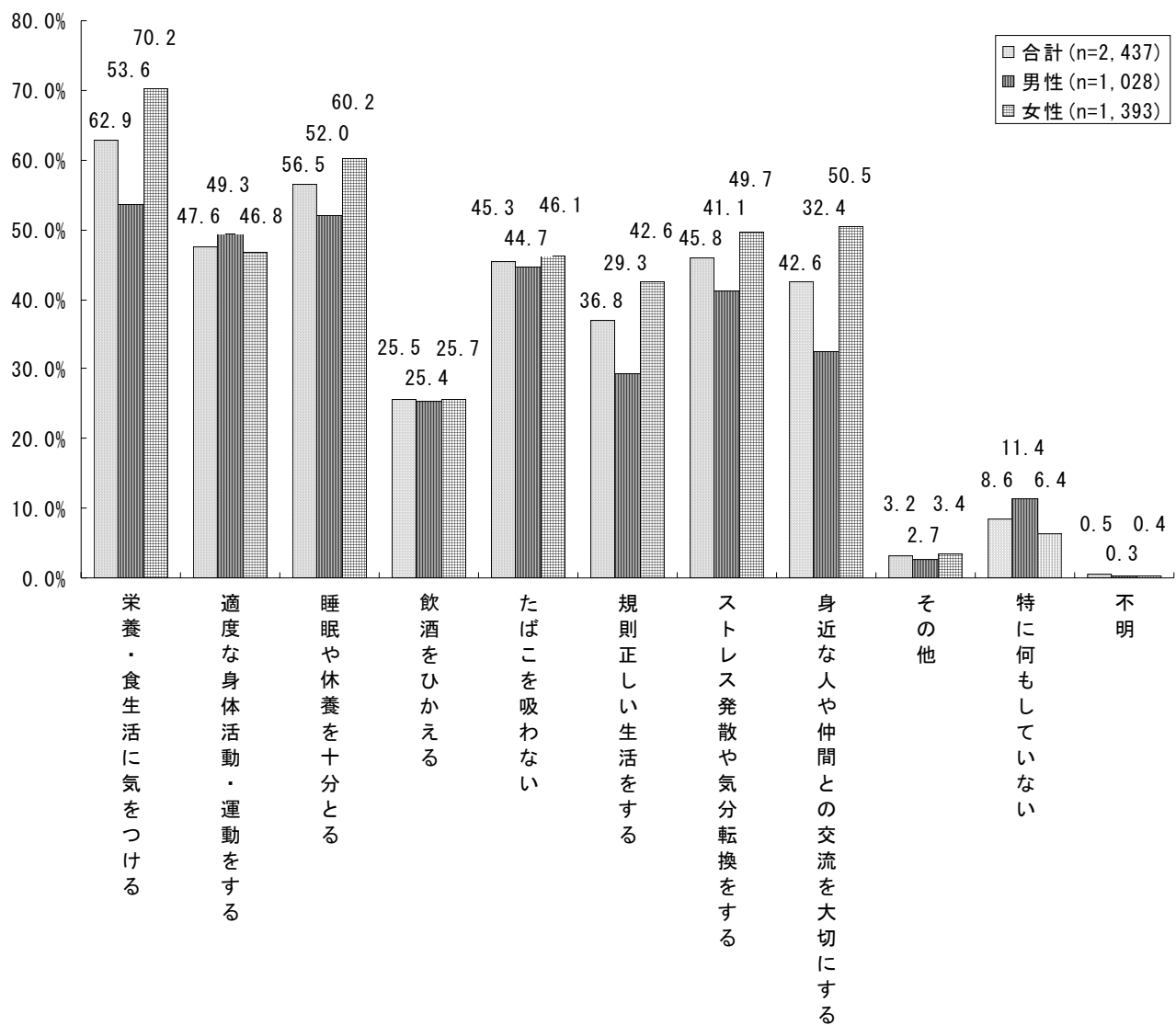
最も多かったのが「栄養・食生活に気をつける」(62.9%)、以下「睡眠や休養を十分とる」(56.5%)、「適度な身体活動・運動をする」(47.6%)、「ストレス発散や気分転換をする」(45.8%)、「たばこを吸わない」(45.3%)、「身近な人や仲間との交流を大切にする」(42.6%)と続く。

前回結果と比較すると、大きい増減が存在する項目はないが、「睡眠や休養を十分とる」・「飲酒をひかえる」では比較的減少幅が大きくなっている。

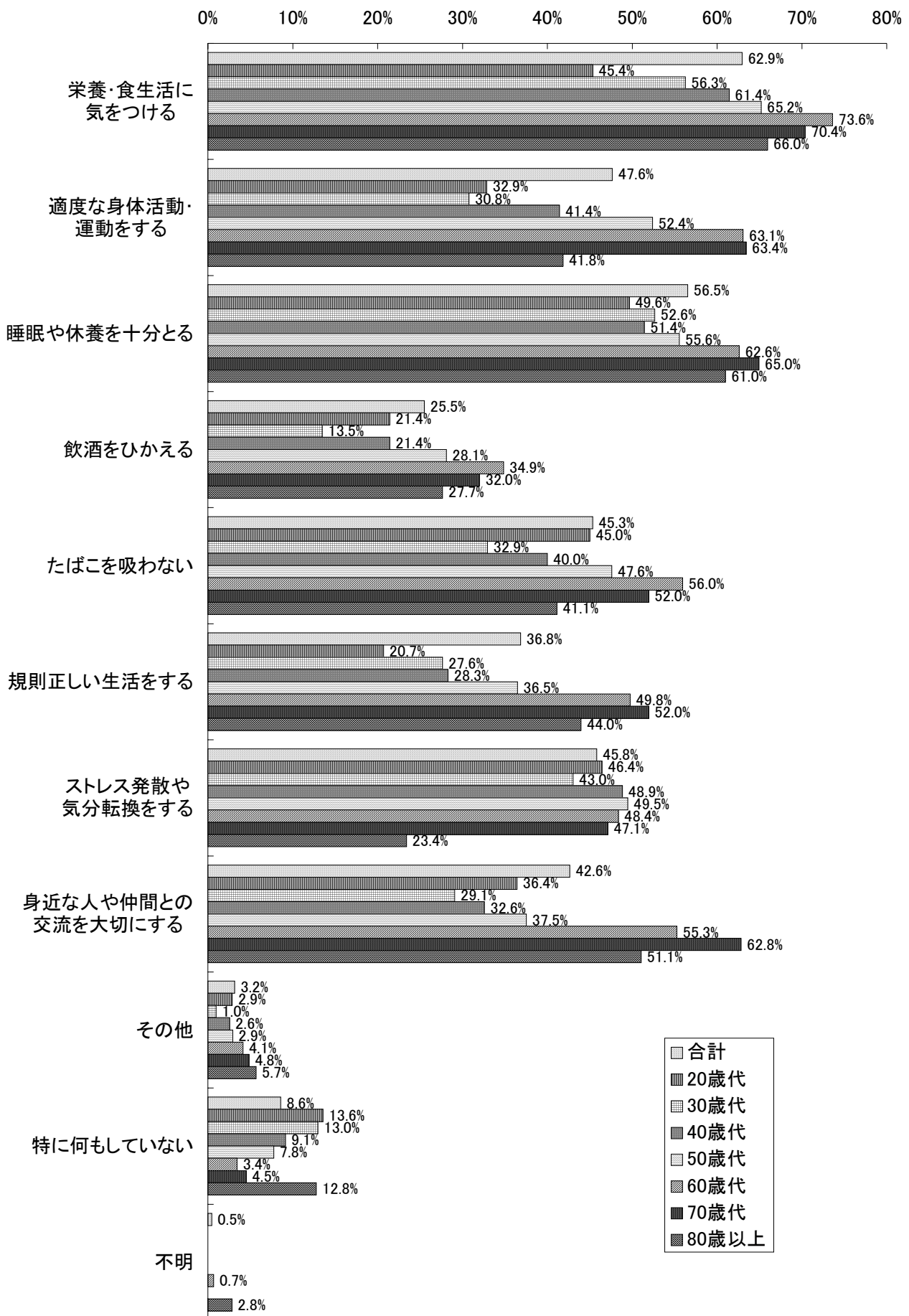
男女別に見ると、全般的に女性の回答割合が高く、健康に対する意識の高さが伺える。最も多い「栄養・食生活に気をつける」では、女性が男性を15%以上上回っており、この傾向が顕著である。この他、「身近な人や仲間との交流を大切にする」、「規則正しい生活をする」において、男女間で10%以上の格差が存在する。

前回結果と比較すると、男性で「睡眠や休養を十分とる」が5%、「飲酒をひかえる」が5%減少、同じく女性でそれぞれ3%、4%減少している。また、男性では「規則正しい生活をする」も5%減少している。

年代別に見ると、概して50歳代を境にして傾向に明白な差が見られ、50代以上ではそれ以下の年代に比べ、ほぼすべての項目において割合が高く、特に「栄養・食生活に気をつける」、「飲酒をひかえる」、「規則正しい生活をする」、「身近な人や仲間との交流を大切にする」が高い。40代以下の若い年代では、「睡眠や休養を十分とる」、「たばこを吸わない」、「ストレス発散や気分転換をする」の割合が50代以上と同等となっており高い。



		合計	1. 栄養・食生活に気をつける	2. 適度な身体活動・運動をする	3. 睡眠や休養を十分とる	4. 飲酒をひかえる	5. たばこを吸わない	6. 規則正しい生活をする	7. ストレス発散や気分転換をする	8. 身近な人や仲間との交流を大切にする	9. その他	10. 特に何もしていない	不明
合計	実数	2437	1534	1161	1378	622	1105	898	1117	1039	77	209	11
	構成比	100.0%	62.9%	47.6%	56.5%	25.5%	45.3%	36.8%	45.8%	42.6%	3.2%	8.6%	0.5%
20歳代	実数	280	127	92	139	60	126	58	130	102	8	38	0
	構成比	100.0%	45.4%	32.9%	49.6%	21.4%	45.0%	20.7%	46.4%	36.4%	2.9%	13.6%	0.0%
30歳代	実数	416	234	128	219	56	137	115	179	121	4	54	0
	構成比	100.0%	56.3%	30.8%	52.6%	13.5%	32.9%	27.6%	43.0%	29.1%	1.0%	13.0%	0.0%
40歳代	実数	350	215	145	180	75	140	99	171	114	9	32	0
	構成比	100.0%	61.4%	41.4%	51.4%	21.4%	40.0%	28.3%	48.9%	32.6%	2.6%	9.1%	0.0%
50歳代	実数	477	311	250	265	134	227	174	236	179	14	37	0
	構成比	100.0%	65.2%	52.4%	55.6%	28.1%	47.6%	36.5%	49.5%	37.5%	2.9%	7.8%	0.0%
60歳代	実数	436	321	275	273	152	244	217	211	241	18	15	3
	構成比	100.0%	73.6%	63.1%	62.6%	34.9%	56.0%	49.8%	48.4%	55.3%	4.1%	3.4%	0.7%
70歳代	実数	331	233	210	215	106	172	172	156	208	16	15	0
	構成比	100.0%	70.4%	63.4%	65.0%	32.0%	52.0%	52.0%	47.1%	62.8%	4.8%	4.5%	0.0%
80歳以上	実数	141	93	59	86	39	58	62	33	72	8	18	4
	構成比	100.0%	66.0%	41.8%	61.0%	27.7%	41.1%	44.0%	23.4%	51.1%	5.7%	12.8%	2.8%
不明	実数	6	0	2	1	0	1	1	1	2	0	0	4
	構成比	100.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%





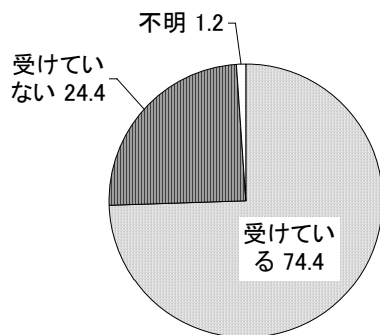


## A4. 定期的な健康診断の受診

### [設問]

Q 4 あなたは、定期的に健康診断（住民基本健康診査、学校や職場での健康診断、人間ドックなど）を受けていますか。（○は1つ）

### [回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	受けている	1812	74.4	1694	74.0
2	受けていない	595	24.4	564	24.7
3	不明	30	1.2	30	1.3
回答数		2437	100.0	2288	100.0

### [回答結果(詳細)]

定期的な健康診断受診の有無について伺ったものである。

“受診率”（「受けている」）は 74.4%と全体の 3／4 に上る。前回調査と比較しても数値的な変動はほとんどない。

男女別に見ると、受診率は男性で 8 割、女性で 7 割となっており、男性の方で高い。

前回調査と比較すると、受診率は男性で 1 %減、女性で 2 %増となっているが、特に目立った差は発生していない。

年代別に見ると、40～60 歳代の中高年齢層での受診率が高く、40 歳代が 79.1%、50 歳代が 81.3%、60 歳代が 78.4%となっている。

30 代以下の若い年代と 80 歳以上の高齢者ではやや“受診率”が低く、20 歳代で 64.6%、30 歳代で 65.6%、80 歳代で 60.3%となっている。

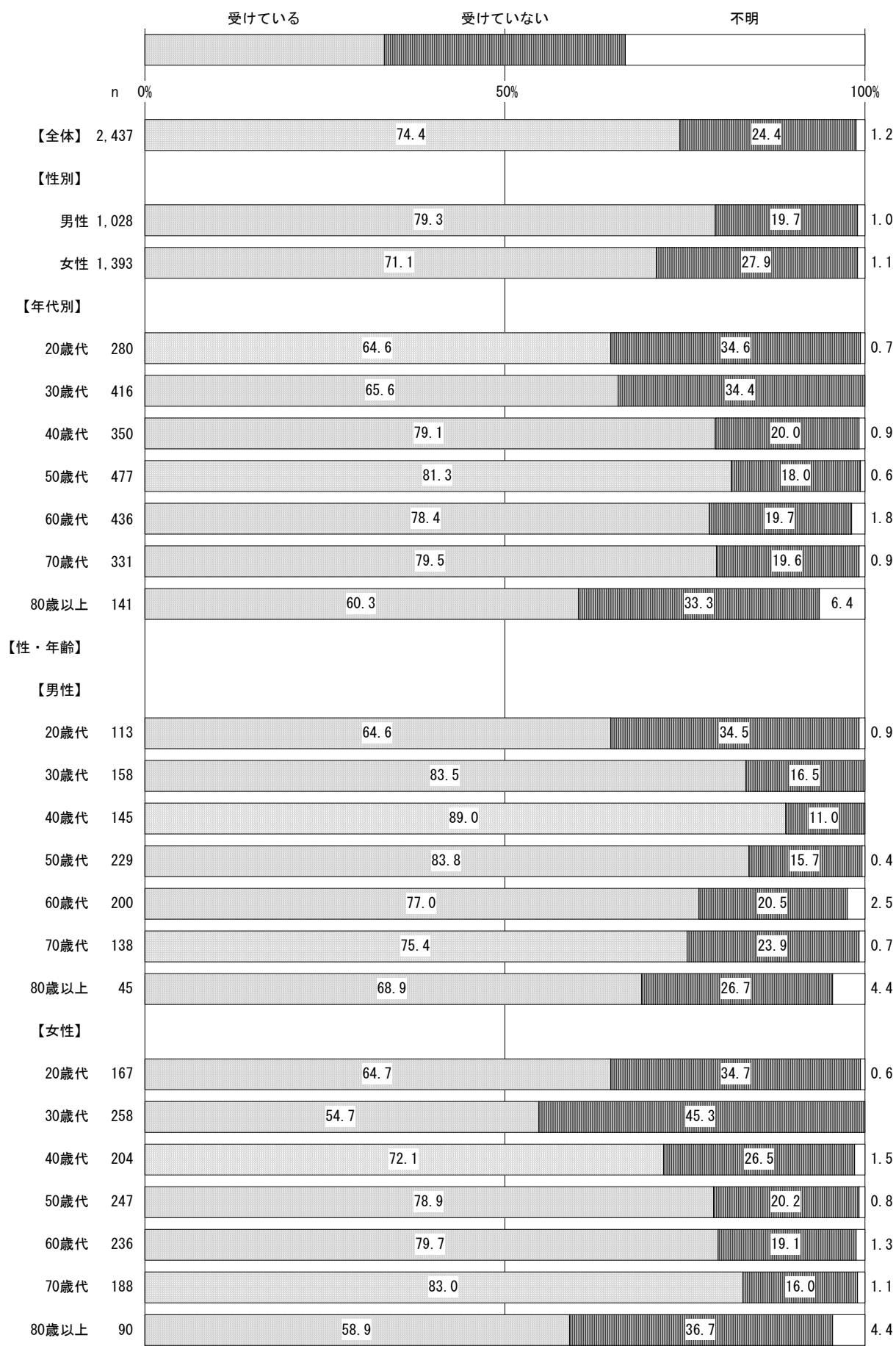
前回調査と比較すると、40～60 歳代での受診率の高さに変わりはないが、50 歳代で 4 %減、60 歳代で 3 %減とやや低下している。また、「受けていない」は 30 歳代の若い年代で 3 割を超え高いが、その割合は前回よりも 4 %ほど減少し、改善傾向が見られる。

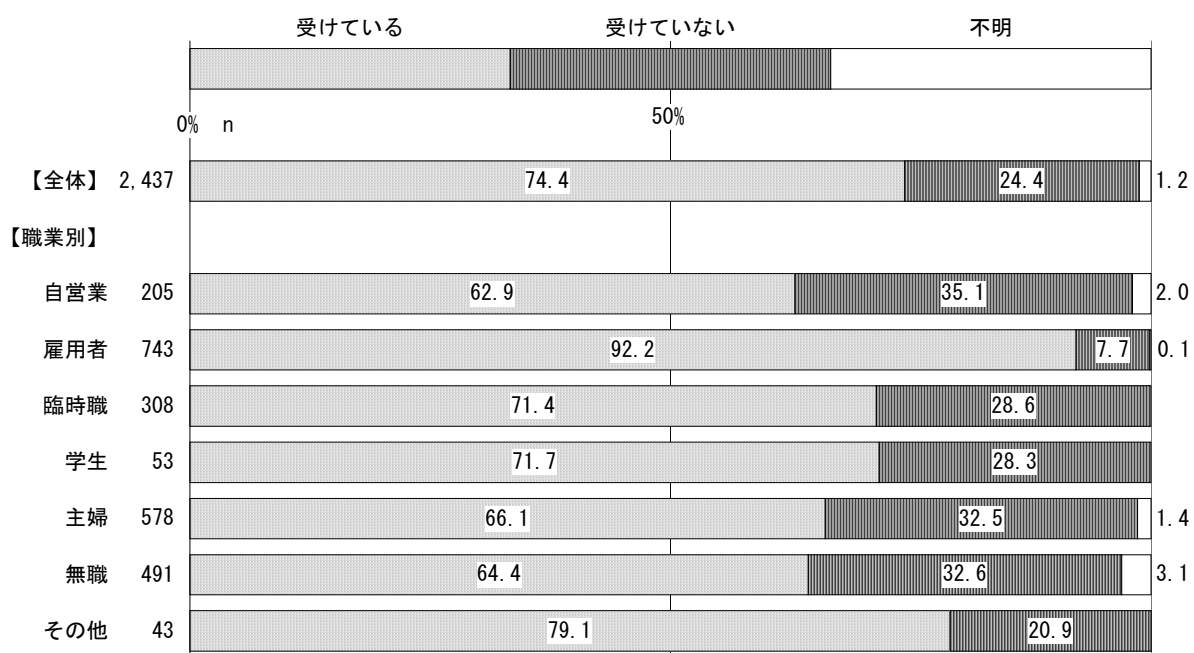
性別・年代別に見ると、男性は 30 歳代（83.5%）、40 歳代（89.0%）、50 歳代（83.8%）、女性は 50 歳代（78.9%）、60 歳代（79.7%）、70 歳代（83.0%）で各々受診率が高くなっており、特に働き盛りの層である男性の 30～50 代で 8 割を超え高い。

前回調査と比較すると、男性 20 歳代で 8 %の減、女性 80 歳以上で 11%の減と、この 2 世代での受診率低下が目立つ。また、女性 20 歳代での受診率は 11%も上昇している。前回・今回共に最も受診率が低いのは女性 30 歳代であるが、（割合自体は前回・今回とも 5 割台と低いものの）4 %ほど上昇しており改善傾向が見られる。

職業別に見ると、『雇用者』での受診率が際立って高く 92.2%である。『自営業』（62.9%）、『主婦』（66.1%）、『無職』（64.4%）では受診率が 6 割台とやや低い。

前回調査と比較すると、受診率は『雇用者』で 5 %の上昇、『学生』で 7 %の減少となっている。





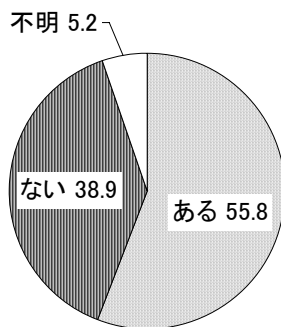


## AS4①. 健康診断で要指導・治療と判断されたこと

### [設問]

S Q 4 ① Q 4で「1」と回答した方だけに伺います。これまで、健康診断で要指導・治療と判断されたことがありますか。(○は1つ)

### [回答結果(全体)]



N=1,812人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	ある	1012	55.8	869	51.3
2	ない	705	38.9	625	36.9
3	不明	95	5.2	200	11.8
回答数		1812	100.0	1694	100.0

### [回答結果(詳細)]

前Q 4で健康診断を『受けている』と回答した方に、受診時に要指導・治療と判断されたことがあるかどうかについて尋ねたものである。

要指導・治療と判断されたことが「ある」と回答した方が **55.8%**であった。

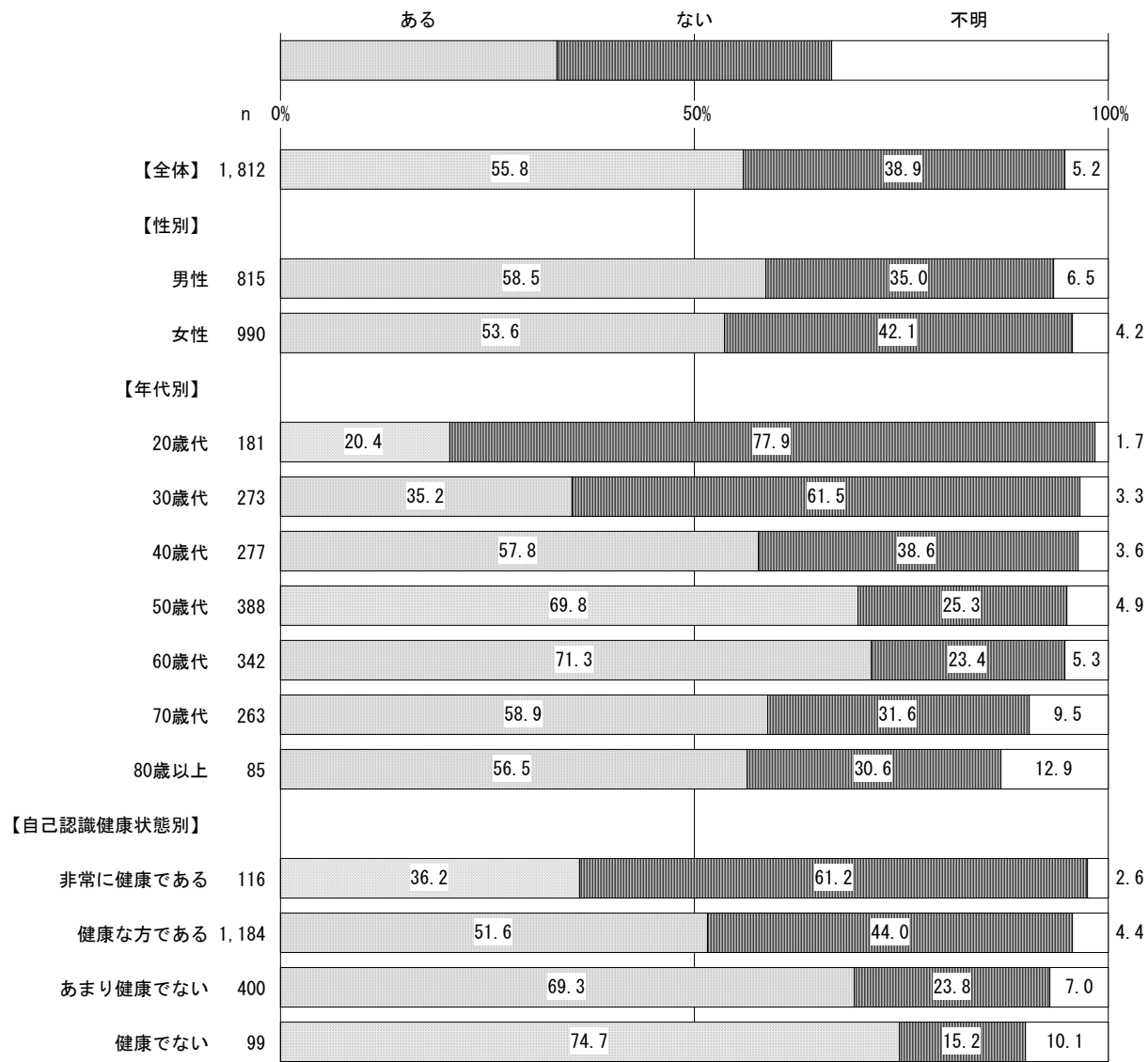
前回調査と比較すると、「ある」方が5%近く増加している一方、「ない」との方も若干ながら(2%)増加となっている。

男女別に見ると、「ある」は男性で **58.5%**、女性で **53.6%**であった。

前回調査と比較すると、「ある」と回答した方は男性が3%、女性が6%増加しており、特に女性での増加幅が大きくなったことから、男女間の差が縮まってきている。

年代別に見ると、「ある」とした方は、40歳代で **57.8%**、50歳代で **69.8%**、60歳代で **71.3%**と高い。

前回調査と比較すると、「ある」とした方は、50歳代で8%、60歳代で7%の増加となっている。

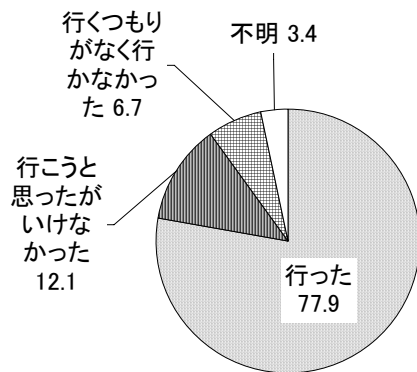


## AS4②. 健康診断での判断により医療機関等に行ったか

### [設問]

S Q 4② S Q 4①で「1」と回答した方のみについて伺います。その際医療機関等に行きましたか。  
(○は1つ)

### [回答結果(全体)]



N=1,012人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	行った	788	77.9	730	84.0
2	行こうと思ったが いけなかった	122	12.1	89	10.2
3	行くつもりがなく行かなかった	68	6.7	44	5.1
4	不明	34	3.4	6	0.7
回答数		1012	100.0	869	100.0

### [回答結果(詳細)]

前Q4 S Q 4①で、健康診断で要指導・治療と判断されたことが『ある』と回答した方に、医療機関等に行ったかどうかについて尋ねたものである。

「行った」方が8割弱(77.9%)と高いが、「行こうと思ったが行けなかった」(12.1%)、「行くつもりがなく行かなかった」(6.7%)方も併せて2割ほど存在する。

前回調査と比較すると、「行った」が6%近くの減少、「行こうと思ったが行けなかった」は2%、「行くつもりがなく行けなかった」は約2%と、共に微増となっている。

前Q4 S Q 4①で、要指導・治療と判断されたことが『ある』方が増加しているにもかかわらず、実際に行動に移した(「行った」)方が6%ほど減少している。

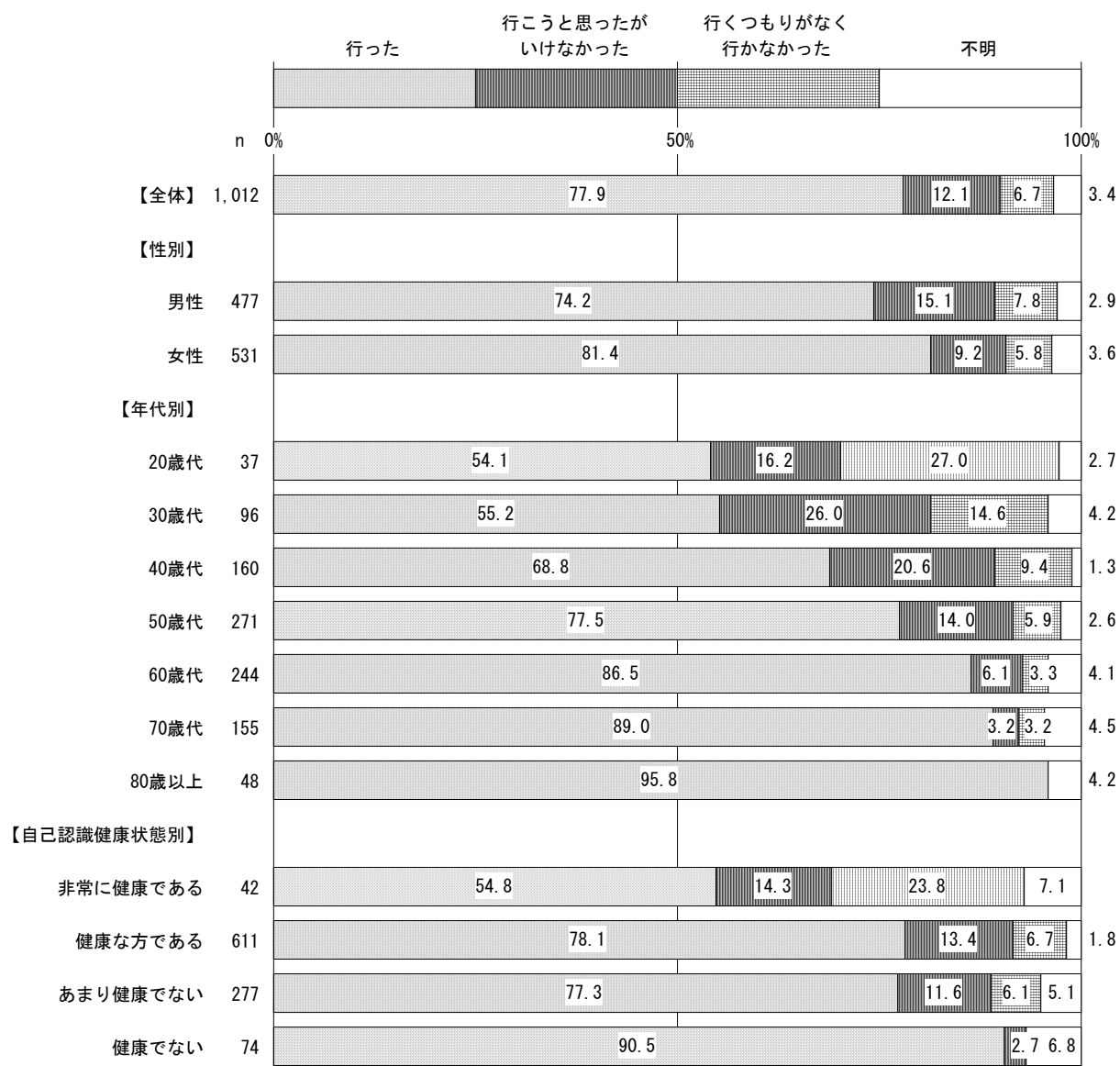
男女別に見ると、「行った」が男性で74.2%、女性で81.4%と、女性の方で割合が高い。

前回調査と比較すると、「行った」割合は男性で8%、女性で5%減少している。

年代別に見ると、年代が上がるほど「行った」割合が高くなる傾向にある。最も多い80歳以上と最も少ない20歳代では42%の差が存在する。

前回に比べ80歳以上を除くすべての年代で「行った」割合が減少しており、特に20歳代で21%減少している。

現在の健康状態別に見ると、健康状態が良くない人ほど「行った」割合が高くなる傾向にあり、『健康ではない』では90.5%である。一方、『非常に健康である』方では「行った」が54.8%にとどまっている。



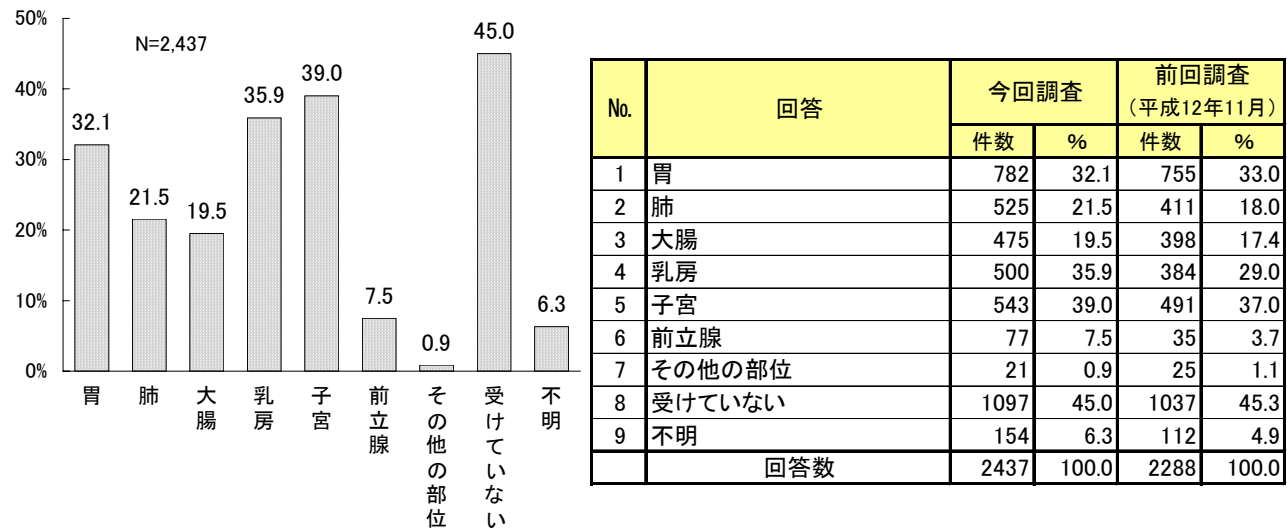


A5. 定期的に受けているがん検診

[設問]

Q 5 あなたが、定期的に受けているがん検診はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも(「8」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



※『前立腺』は男性だけの値  
※『乳房』・『子宮』は女性だけの値

[回答結果(詳細)]

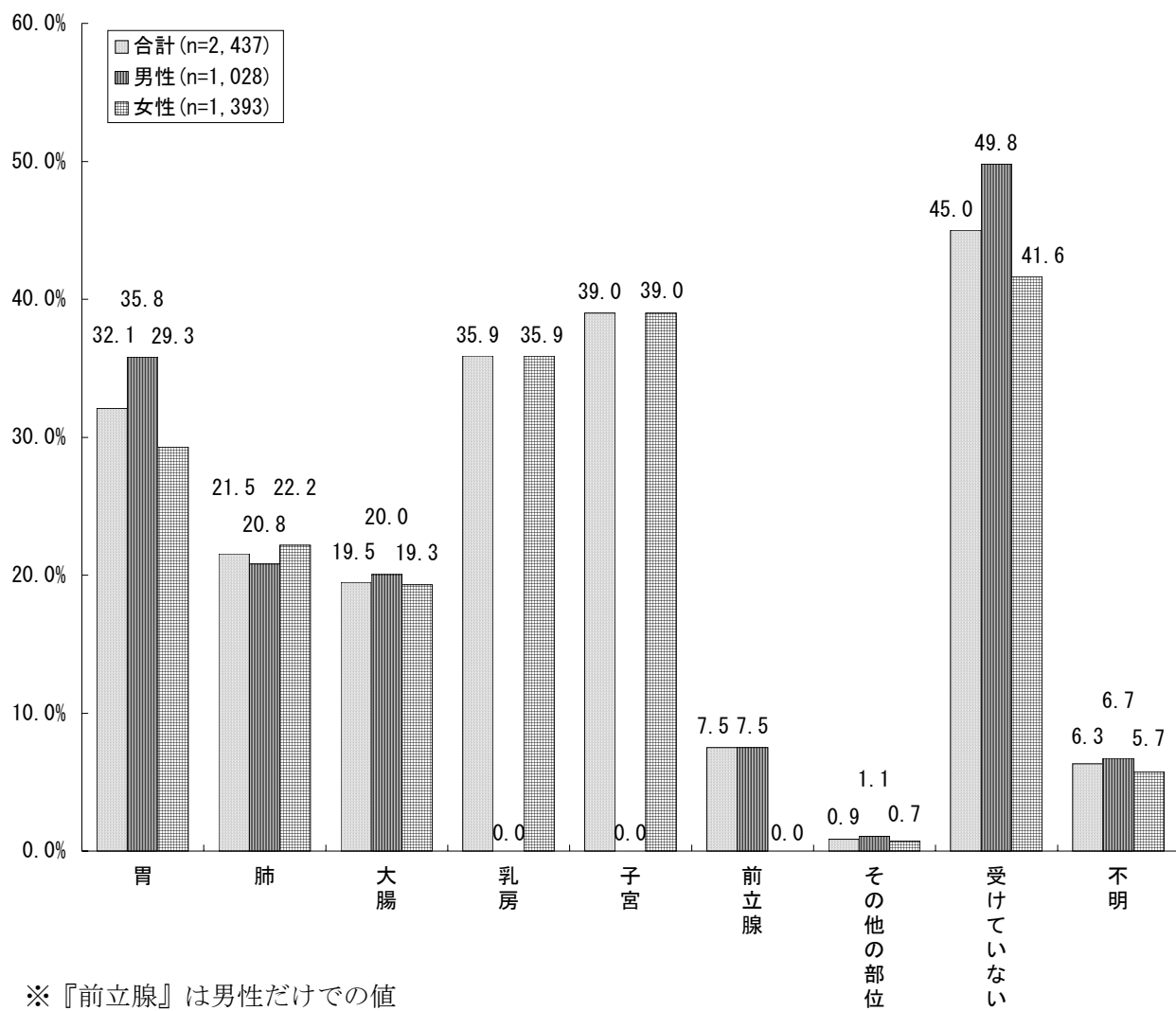
定期的に受けているがん検診について伺ったものである。

実際に受診している検診の中では、「子宮」が最も多く（39.0%）、以下「乳房」（35.9%）、「胃」（32.1%）、「肺」（21.5%）、「大腸」（19.5%）と続く。

前回調査と比較すると、「胃」がやや減少、その他の検診項目が増加となっており、特に「乳房」で＋7%と増加幅が大きい。なお「受けていない」の割合は、前回今回共に4割強で全項目中最も高い。

男女別に見ると、男性で「胃」及び「受けていない」方が女性に比べ多い。女性では「子宮」（39.0%）、「乳房」（35.9%）が、共に3割を大きく超え高くなっている。

前回調査と比較すると、男性では割合こそ低いものの「前立腺」が3.7%から7.5%に倍増し、女性では「乳房」が7%、「肺」が7%、「大腸」が6%の増加となっている。



※『前立腺』は男性だけの値

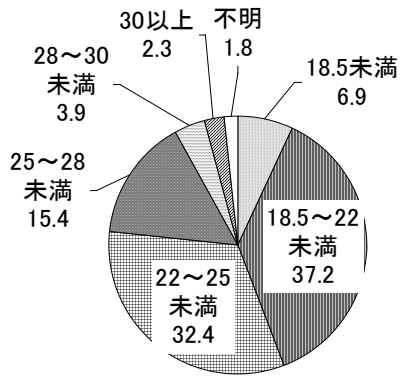
※『乳房』・『子宮』は女性だけの値

## A6. 回答者BMI値

### [設問]

Q 6 あなたの身長と体重を□にご記入ください。おおよそで結構です。

### [回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	18.5未満	169	6.9	172	7.5
2	18.5～22未満	907	37.2	914	39.9
3	22～25未満	790	32.4	756	33.0
4	25～28未満	376	15.4	322	14.1
5	28～30未満	96	3.9	96	4.2
6	30以上	56	2.3	—	—
7	不明	43	1.8	28	1.2
回答数		2437	100.0	2288	100.0

※前回調査は今回調査と選択肢が異なる。  
(前回調査では「28 以上」)

### [回答結果(詳細)]

市民の方々にご自身の身長と体重を聞き、そこから「BMI」【体重(kg)÷[身長(m)]<sup>2</sup>】を算出・分類したものが上図である。

BMI値18.5～25までの「適正体重」の方は7割(69.6%)、18.5未満の「やせ型」の方は7%、25以上の「肥満」の方は2割(21.6%)という構成となっている。

前回調査と比較すると、「適正体重」、「やせ型」が微減、「肥満」が増加となっている。

男女別に見ると、「適正体重」、「やせ型」は女性の方が多いが、「肥満」は男性の方に多く、女性よりも12%近く高くなっている。

前回調査と比較すると、「適正体重」の方が男性で3%、女性で3%減少し、「肥満」の方が男性で5%、女性で2%の増加となっている。

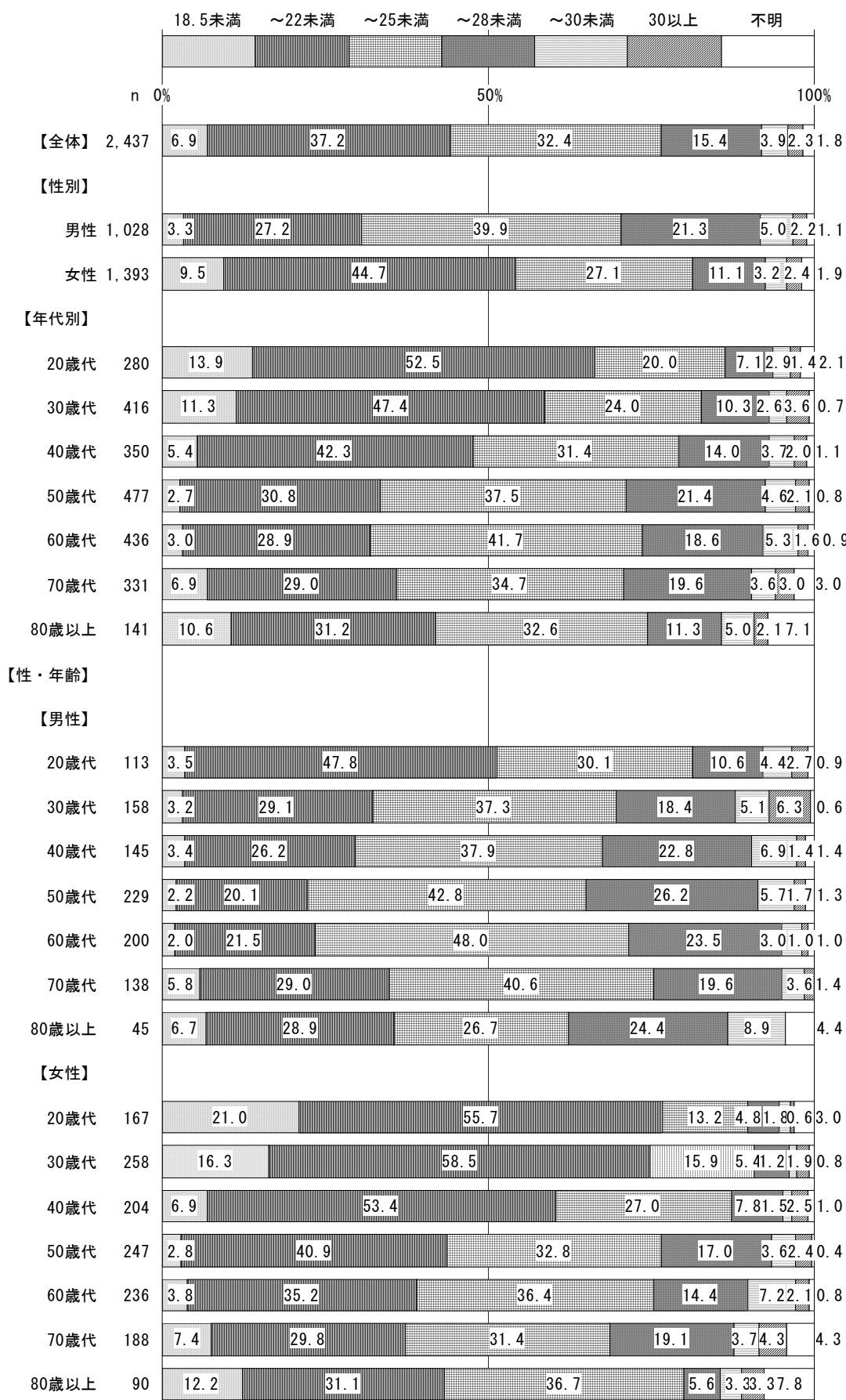
男女共BMI値30以上の方は、男性が2.2%、女性が2.4%存在する。

年代別に見ると、「やせ型」の方は若い年代、及び高年齢層に多い。「適正体重」の方は相対的に若い年代ほど多くなり、逆に、「肥満」の方は年代が上がるほど多くなる傾向にある。

前回調査と比較すると、「適正体重」の方は、20歳代で1%、30歳代で4%、40歳代で5%、50歳代で2%、60歳代で1%、70歳代で7%、80歳以上で2%と、全年代で減少、「肥満」の方は、20歳代で6%、30歳代で1%、40歳代で3%、50歳代で3%、60歳代で1%、70歳代で6%、80歳以上で4%と、全年代で増加となっている。

性別・年代別に見ると、「やせ型」は30歳代以下の若い年代の女性に多い。「肥満」は40・50歳代の中高年の男性に多くなっており、特に50歳代では20歳代の倍近い割合となっている。

前回調査と比較すると、男性の「肥満」の割合が高まっており、20歳代(+6%)、40歳代(+6%)、60歳代(+5%)、70歳代(+6%)、80歳以上(+17%)で前回比5%以上の大幅増となっている。また、女性20歳代では「肥満」の割合が3.6%から7.2%と倍増となっている。

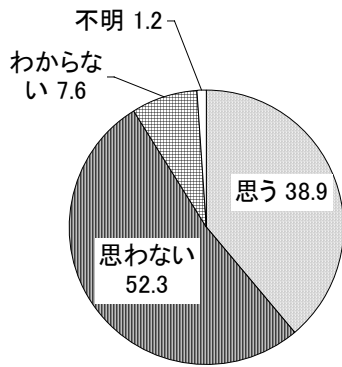


A7. 体重が身長に対して適正なものだと思うか

[設問]

Q 7 あなたは、ご自分の体重が身長に対して適正なものだと思いますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



N=2,437人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	思う	947	38.9	956	41.8
2	思わない	1275	52.3	1131	49.4
3	わからない	185	7.6	180	7.9
4	不明	30	1.2	21	0.9
回答数		2437	100.0	2288	100.0

[回答結果(詳細)]

ご自身の体重が身長に対して適正なものであるかどうか、その認識について伺ったものである。

「思う」とした方が4割近く(38.9%)であるが、「思わない」とした方が半数を超えている(52.3%)。  
前回調査と比較すると、「思う」が減少、「思わない」が増加している。

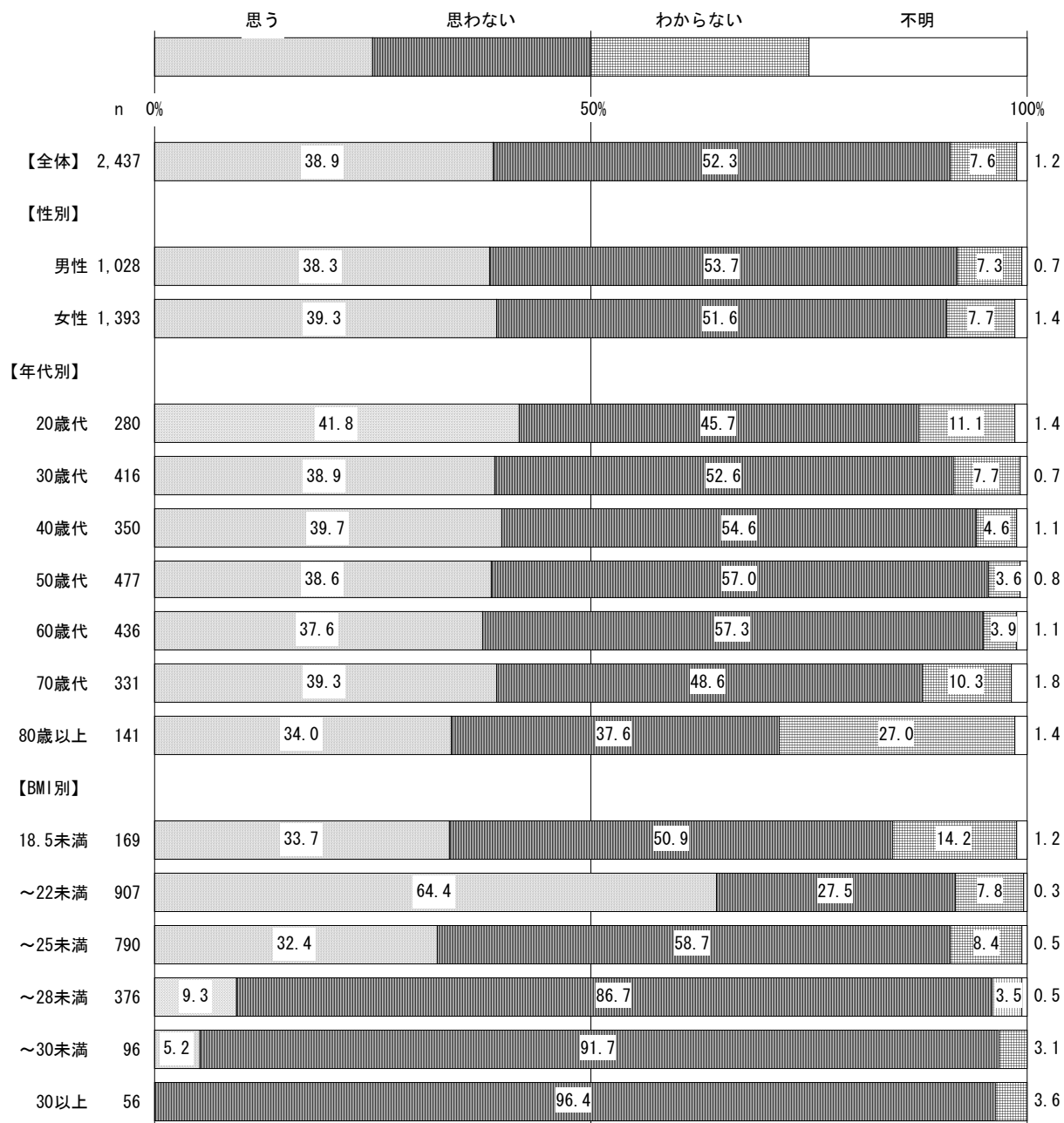
男女別に見ると、男女共「思わない」が5割を超えており、やや男性の方で高くなっている。

年代別に見ると、「思わない」は50歳代で57.0%、60歳代で57.3%となっている。

前回調査と比較すると、「思わない」は30歳代で5%、60歳代で7%、70歳代で6%、80歳以上で6%の増加となっている。

BMIの数値別に見ると、BMI値18.5～25未満の『適正体重』にある方でも(適正だと)「思う」割合は5割にとどまっている。また25以上の『肥満』の方で、適正な体重と「思わない」割合は9割近くに達している。

前回調査と比較すると、『やせ型』(BMI値18.5未満)、『適正体重』(18.5～25未満)の割合に変化はないが、『肥満』(25以上)については(適正な体重と)「思う」方が3.8%から7.6%に倍増し、「思わない」が4%ほど減少している。

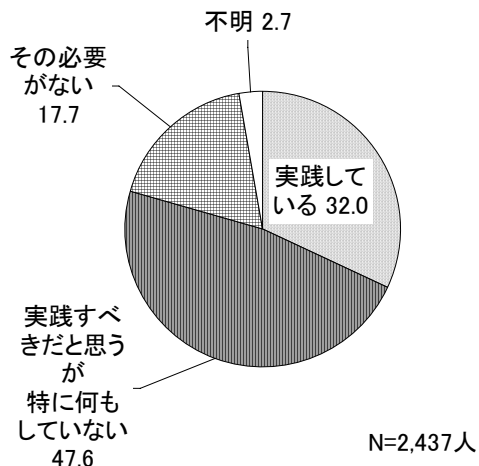


## A8. 体重コントロールを実践しているか

### [設問]

Q 8 あなたは、体重コントロールを実践していますか。(○は1つ)

### [回答結果(全体)]



No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	実践している	779	32.0	696	30.4
2	実践すべきだと思うが特に何もしていない	1160	47.6	1139	49.8
3	その必要がない	432	17.7	418	18.3
4	不明	66	2.7	35	1.5
回答数		2437	100.0	2288	100.0

### [回答結果(詳細)]

運動や食事の制限等を行ない、適正な体重を保つようにする『体重コントロール』を実践しているかどうかについて伺ったものである。

「実践している」方は3割程度（32.0%）にとどまり、半数近く（47.6%）が「実践すべきだと思うが特に何もしていない」と回答している。また、「その必要がない」方も2割弱程度（17.7%）存在する。

前回調査と比較すると、「実践すべきだと思うが特に何もしていない」方が減少し、「実践している」方が増加となっている。

男女別に見ると、男女共傾向はほぼ同じであるが、「その必要がない」は男性の方でやや多い。

前回調査と比較すると、女性は変わらないが、男性の方で「実践している」方が4%増加している。

年代別に見ると、70歳以上を除くと、年代が上がるほど「実践している」割合が高まる傾向にある。20歳代と80歳以上では、「その必要がない」が2割を大きく超えている。

前回調査と比較すると、50歳代より上の層で「実践している」割合が増加となっている。

性別・年代別に見ると、男女共50～70歳代で「実践している」割合が高い。「その必要はない」は男性20歳代、女性80歳以上で高く3割となっている。

前回調査と比較すると、男女共50歳代で「実践している」割合が増加している。

BMIの数値別に見ると、25以上の『肥満』の方で「実践している」割合は3割強と「適正な体重」の方とさほど変わらず、「肥満」であることの自覚を持ちつつも、体重コントロールの実践は消極的である傾向が見られる。なお30以上の方では、「実施している」が4割を超えている。

なお、前回調査と比較すると、数値的な変化はほとんど見られない。

